

見る

京都サンガF.C. 綾部市ホームタウンデー



市と京都サンガF.C. は9月23日、亀岡市のサンガスタジアム by KYOCERA で「綾部市ホームタウンデー」を開催しました。試合は1-1でF.C町田ゼルビアと引き分けとなりましたが、白熱したプレーの応酬にスタジアムは大いに盛り上がりました。スポーツ観戦の面白さは、現地で体感する迫力です。ぜひスタジアムで、トップレベルの戦いをお楽しみください。

京都ハンナリーズ市民デー



11月8日(土)、9日(日)に「京都ハンナリーズ市民デー」が京都市体育館(京都市右京区)で開催されます。市民デー当日は、来場している綾部市民の中からエスコートキッズを選出し、選手とともに入場します。また、アリーナ内に設置されるPRブースでは、本市の魅力を来場者に向けて発信します。詳しくは、京都ハンナリーズ公式ホームページをご覧ください。

<https://hannaryz.jp/>

やってヨシ！  
見てヨシ！  
支えてヨシ！

Let's enjoy SPORTS

支える

地域を元気にするスポーツ推進委員

私たちスポーツ推進委員は、地域の人がスポーツを楽しめるように、大会やイベントの運営、高齢者の健康づくり教室など、幅広い場面でお手伝いをしています。また、子どもたちが将来どんなスポーツに出会っても対応できるように、走る、跳ぶ、投げるといったスポーツの基本となる動きを遊びの中で身につけてもらう「ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)」を実施しています。スポーツ推進委員の魅力は、楽しみながら活動でき、地域の元気につながるやりがいを感じられることです。



綾部市スポーツ推進委員  
連絡協議会会長  
滝下香代子さん(上野町)

一緒にスポーツで綾部市を  
盛り上げませんか



現在、市ではスポーツ推進委員を募集しています。「スポーツを通じて地域づくりに関わりたい」「新しいことにチャレンジしたい」人は、同課☎(42)4356へお問い合わせください。

スポーツの秋がやってきた！

本市では、市民がスポーツを通じて健康で豊かな生活を送れるよう、市民一人1スポーツの実現を目指しています。スポーツには「する」「見る」「支える」など、さまざまな関わり方があります。涼しい風が心地よいこの季節、自分に合ったスポーツの楽しみ方を見つけてみませんか。

競技の好きなところ  
今後の目標などを聞きました



現状に満足せず  
進み続けます！

少林寺拳法  
中村維新さん  
(綾部中3年)

サーブがうまく  
決まったときが  
うれしい！

綾部ジュニア  
ソフトテニスクラブ

出口玲夢さん  
(物部小6年)



にじが  
岩崎虹架さん  
(西八田小6年)



京都スマイルガールズ  
(女子軟式野球)

いしずみ ゆう  
石角優羽さん  
(志賀小6年)

する



清山荘(里町)では、グラウンドゴルフや卓球、体操などが楽しめます

目標を持って楽しむ

スポーツをする魅力の一つは、目標を持ち楽しみながら取り組めること。週に3回歩く「一大会に出る」といった目標を持つことで、継続の励みとなり、達成したときの喜びが自信につながります。また、子どもから高齢者まで、幅広い年代が楽しめることも魅力。市内には、全国大会などに出場する小・中学生もあり、さまざまな競技で活躍しています。体を動かすことは健康づくりに役立ち、毎日をいきいきと過ごす活力になります。ウォーキングや体操などは、一人でも気軽に始めて取り組んでみませんか。

誰もが気軽に楽しめるニュースポーツ  
「あやべ・クロスロー」



綾部市で生まれたニュースポーツ「あやべ・クロスロー」は、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰でも楽しめる競技です。来年3月8日(日)には大会も開催しますので、ぜひ気軽にご参加ください。なお、競技に必要な用具は貸し出しています。

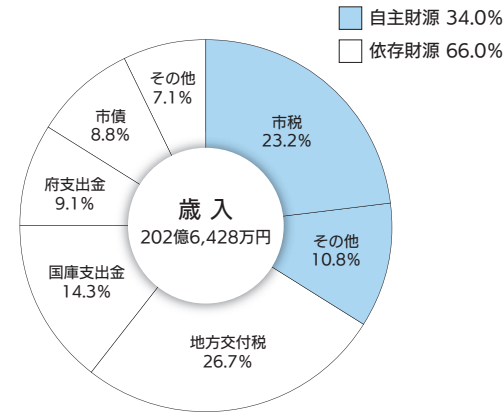
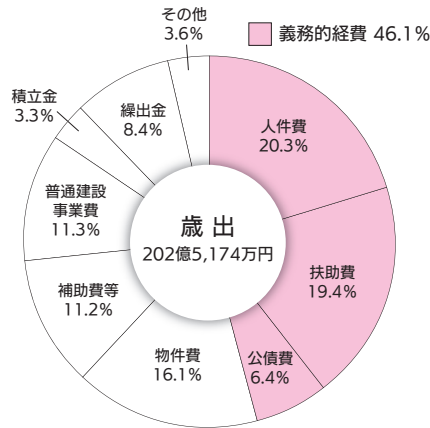
<問い合わせ> 文化・スポーツ振興課☎(42)4356

あらゆる財源を有効活用

# 防災・減災対策、子育て支援を推進



①あやべ・日東精工スタジアム（あやべ球場、上杉町）のスコアボードを更新 ②市民プール（大島町）を改修 ③「はしご自動車」を舞鶴市と共同で購入 ④健康サポートアプリ「AYATOCO」を導入するなどDXも推進 ⑤観光誘客の促進につなげるため、ドラマのロケを誘致。上林を中心に「アリスさんの曲炉裏端」の撮影が行われました



市の令和6年度各会計決算案が10月6日、市議会で認定されました。人件費や物価の上昇など、社会情勢の変化に対応しながら、能登半島地震を踏まえた防災・減災対策や子ども・子育て支援を推進しました。

## 会計別決算収支の状況

| 区 分     |            | 歳入総額        | 歳出総額        |
|---------|------------|-------------|-------------|
| 一 般 会 計 |            | 202億6,428万円 | 202億5,174万円 |
| 特 別 会 計 | 市立診療所等     | 3,738万円     | 3,738万円     |
|         | 農林業者労働災害共済 | 309万円       | 232万円       |
|         | 国民健康保険     | 32億514万円    | 32億443万円    |
|         | 介護保険       | 49億8,153万円  | 48億8,731万円  |
|         | 後期高齢者医療    | 7億1,145万円   | 6億9,691万円   |
|         | 駐 車 場      | 1,466万円     | 1,400万円     |
|         | 住宅・工業団地事業  | 2,804万円     | 2,804万円     |
| 区 分     |            | 事業収益        | 事業費用        |
| 公営企業会計  | 上 水 道 事 業  | 9億9,271万円   | 9億8,716万円   |
|         | 下 水 道 事 業  | 16億8,221万円  | 17億4,386万円  |
|         | 病 院 事 業    | 63億5,331万円  | 67億474万円    |

昨年度と比べ改善しています。  
**特別会計も黒字決算**  
特別会計7会計の総額は、歳入89億8,129万円、歳出88億7,039万円、左表。実質収支は1億1,090万円、7会計とも黒字または収支均衡でした。  
公営企業会計のうち、上水道事業会計は42年連続で黒字でした。下水道事業会計は、令和元年度の公営企業会計移行時から連続で赤字。病院事業会計も人件費や物価の高騰を受け、5年連続の赤字となりました。

## 財政用語の解説

**経常収支比率**  
一般財源（市が自由に使える財源）に占める福祉施設経費や人件費など義務的な経費の割合。率が高いほど、自由に使える資金が少ないこととなります。

**実質公債費比率**  
市債（借金）の額が適正かどうかを判断する数値。一般財源に占める借金返済額の割合です。

**将来負担比率**  
市が将来的に負担しなければならない可能性のある実質的な借金残高などを指標化したもの。一般会計に加え、各特別会計や第3セクターも含めた借金の額などを基に算出します。

**歳入・歳出とも微減**  
一般会計の歳入は202億6,428万円、前年度比0.4%減。歳出は202億5,174万円、前年度比0.1%減でした。いずれも過去4番目の規模で、翌年度へ繰り越す財源を除いた実質収支は53年連続の黒字となりました。  
歳入のうち、自主財源の柱である市税収入は47億1,399万円、前年度比3.8%（1億8,702万円）減少しました。定額減税で個人市民税が減ったことが主な要因ですが、減収分は国の交付金によって補填されています。

**木造住宅の耐震化促進も**  
歳出のうち、普通建設事業費は22億9,629万円、前年度比24.9%（7億5,988万円）減。あやテラスなどの大型公共施設の整備事業費が減少したためです。一方で、避難所の備蓄物資の充実や木造住宅の耐震化促進など、防災・減災対策を実施。また、子ども政策を推進するため組織を強化し、子どもや子育て家庭への包括的な支援体制づくりを進めました。さらに、地方創生臨時交付金など国の財源を活用し、物価高騰に伴う

財政の弾力性を示す経常収支比率は4.2%悪化し、過去最も高い数値となりました。過去、財政の健全性を判断する各指標は「これ以上悪化すると危険」な基準を下回り、全て安全圏内。実質公債費比率は同基準25%に対して9.9%、将来負担比率は同基準35.0%に対し87.9%と、いずれも

**物価高騰など背景に財調取り崩し**  
市債（借金）残高は、前年度より5億7,428万円増え154億1,620万円。ハード事業を積極的に展開したため、3年連続で増加しました。基金（貯金）残高は、3億4,588万円減の62億7,119万円。国の人事院勧告に基づく職員の給与改定に伴う人件費の増や病院事業会計補助金の増などにより、財政調整基金（財調）を7年ぶりに取り崩しました。

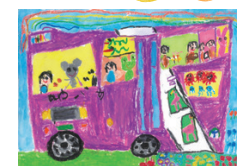
経済対策や市民、事業者へのきめ細かな支援にも努めました。

旧図書館（新宮町）を活用し「ハート交流センター」を整備。市民団体等が利用できる貸会議室やエレベーター、無料Wi-Fiなどを新設しました

# 第15回 あやバス 絵画展

市は「第15回あやバス絵画展」を開催しました。応募総数計253点5歳児57点、小学1年生70点、同2年生74点、同3年生52点から16点が入賞。入賞者は次の皆さんです（敬称略）。入賞作品は「移動絵画展」として、11月28日まであやバスの車内で展示します。

## 最優秀作品



長倉 鈴（豊里幼児園）



津隈心葉（豊里小1年）



坂場友音（綾部小2年）



橋本明依（中筋小3年）

### 5歳児の部

優秀賞／大槻吏彦（豊里幼児園）  
桃太郎賞／篠寄里帆（吉美こども園）  
佳作／田原結翔（物部保育園）

### 小学1年生の部

優秀賞／織部真聖（綾部小）  
桃太郎賞／太田詩乃（同）  
佳作／土本乃愛（西八田小）

### 小学2年生の部

優秀賞／吉崎かん奈（西八田小）  
桃太郎賞／大上沙奈（綾部小）  
佳作／篠寄彩純（豊里小）

### 小学3年生の部

優秀賞／織部晃大（綾部小）  
桃太郎賞／太田翔子（同）  
佳作／森津真桜（中筋小）

## シリーズ 人権を考える

# あやべ人権フェスタ2025

市は8月30日、人権フェスタを開催。主会場のあやテラス・ホール（青野町）では、人権講演会を2部構成で行いました。

### 「人権の第一歩は知る」と

第1部は、紙芝居師の小川よしのりさんⅡ左写真Ⅱが講演しました。18才の時に、難病の筋ジストロフィーと診断された小川さん。講演では、迫力ある紙芝居を交えながら、自身が病気とどのように向き合ってきたのかを語りました。最後に「人権とは、まず相手を知ること、知ろうとすることと力強く締めくくり、見た目や生い立ち、病気などにとらわれるこ



となく、互いを理解しようとする姿勢の大切さを伝えました。  
差別に向き合い続ける生き方学ぶ



第2部の講師は、元兵庫県宝塚市長の中川智子さんⅡ右写真Ⅱ。阪神・淡路大震災の災害ボランティアがきっかけで政治の道へ進みました。「常に人権を大切にすること」を行動の基盤に、法律の制定や施策に取り組んだ中川さん。講演では、小学生の時に感じた部落差別への疑問から「自分が大人になっても差別を許さない人間になる」という強い決意が原点にあると語りました。

誰もが住みやすい社会を目指し、私たちも人権課題に誠実に向き合ひましょう。



### 最終コーナー

来年1月末の任期満了をもって引退する意向を表明した。中国の諺に「権腐十年」という言葉があるが、幸いにも今年は災害がなく、ハード施設も一定整備を終えるなどした今なら安心して次の世代にバトンを渡せると判断し、自ら区切りを付けることにした。政治経験も行政経験もなかった自分が4期に及ぶ市長職を全うできることは感慨深いものがある。当初から支援していただいた後援会をはじめ議会など関係の方々、また苦楽を共にした市職員、そして市民の皆さんすべてに伏して感謝を申し上げる。

この間の印象的な出来事としては、度重なる災害とその対応、そして復旧のために財政がひっ迫したことが挙げられる。また、新型コロナウイルスという「見えない敵」との闘いにワクチン接種等、オール綾部で取り組んだ経験は忘れられない。一方、あやベグンゼスクエア整備や市民センターの移設、北部産業創造センターやあやテラスの完成により綾部駅周辺に都市機能を集約した。一連の定住促進による人口減少対策と併せ、その評価は後世に委ねるが、私としては就任以来「至誠一貫」を座右の銘に、現地現場主義に拘り続けた16年であった。

人口減少や少子高齢化、過疎化など課題は山積しているが、次の市政では新しい時代の感覚と価値観でまちづくりに励んでほしいと思っている。デジタル社会、多文化共生社会は待ったなし。環境面での配慮やジェンダーギャップの解消も、若い世代の定着を促すには不可欠だ。国際関係が緊張を増す昨今、混迷する国政の動きを注視しながらも、我々は地に足の着いた地方行政を堅実に進めていく必要がある。ゴールまで4か月を切った今、最終コーナーで落馬することのないよう、更に気を引き締めて残された職務を全うしたい。

山崎善也（綾部市長）



### 今月の手話

### 卵



片手の5指を軽く丸めて、目の横で軽く動かす（卵が新鮮か確かめるため、中を透かして見てから割るしぐさが由来）

協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

## 資料館だより

九鬼氏ゆかりのまちサミットin綾部関連企画展示  
「陸にあがった水軍！ 綾部藩主九鬼家の軌跡」

会期 11月1日（土）～12月25日（木）※月曜日は休館  
時間 午前9時～午後5時  
場所 資料館  
入館料 無料  
綾部陣屋跡や隆興寺を学芸員の解説付きで巡ります

### 関連イベント 九鬼ゆかりの地ウォーク

日時 12月20日（土）午前9時30分～11時30分  
集合場所 資料館  
定員 25人（定員超過の場合は、綾部市民を優先）  
参加費 40円（保険料）  
申込方法 ・インターネット  
専用サイト＝二次元コード＝にアクセスし、必要事項を入力  
・はがき、メール  
参加者全員の〒郵便番号▽住所▽氏名▽生年月日▽昼間に連絡がつく電話番号▽メールアドレスを記載し、社会教育課文化財担当へ



申込期限 11月30日（日）

<問い合わせ>  
社会教育課 ☎(42)4328 ☎(43)0991  
メール shakaikyoiku@city.ayabe.lg.jp